

11 陸上競技実施要項

- 1 日 時 令和4年10月8日(土) 受付 8時00分～ 競技開始 10時30分
- 2 会 場 NDソフトスタジアム山形
- 3 主 管 一般財団法人山形陸上競技協会
- 4 種別(種目) 小学生男子 3・4年 3年60m 4年60m
 5・6年 5年100m 6年100m 1,000m 4×100mR 80mH
 走高跳 走幅跳 ジャベリックボール投
 小学生女子 3・4年 3年60m 4年60m
 5・6年 5年100m 6年100m 800m 4×100mR 80mH
 走高跳 走幅跳 ジャベリックボール投
 小学生男女混合 5・6年 4×100mR(男女各2名で競技する)
 ※小学生男子・女子の60m及び100mは学年別に競技・表彰を行う。
 中学生男子 100m
 中学生女子 100m
- 5 参加資格 (1) 競技者
 令和4年度山形県スポーツ少年団に団員登録をし、年間を通して活動している3年生以上の小学生及び中学生とする。
 (2) 指導者(監督)
 令和4年度山形県スポーツ少年団に指導者登録をしている者で、20歳以上のスポーツ少年団指導者(スポーツ少年団の理念を学んだ者)とする。
 (3) 一人1種目の出場とする。(リレーを除く)。リレーには、男女別と男女混合の両方に出場してもよい。
 同スポーツ少年団からの出場は、以下のとおりとする。
 ・トラック種目：各種目 男女各10名以内
 (60m、100mもそれぞれ1種目とし、2学年を合わせて10名以内とする。)
 ・フィールド種目：各種目 男女各5名以内
 ・リレー種目：男女別リレー 各2チーム以内・男女混合 2チーム以内
 ・中学生100m：参加人数の制限を設けない
 (4) リレーチームは、単一スポーツ少年団の選手をもって編成(小学生に限る)する。
 (5) スポーツ安全傷害保険等に加入済みの選手とする。
- 6 競技規則 2022年度日本陸上競技連盟競技規則に準ずるが、小学生種目では、児童である年齢を考慮した教育的配慮の元に競技を進行する。なお、小学生は、競技者の衣類・バッグ等の商標等の規程、及び2020年度のシューズ規程に関する改定ルール(TR5.2・競技用靴)については適用外とする。
- 7 競技方法 (1) 競技に際して1,000m及び800mを除く種目ではスパイクシューズを使用してよい。ただし、オールウェザー用のスパイクピンとし、長さ9mm以内、本数11本以内とする。素足による競技は認めない。
 (2) 招集時刻を厳守すること。
- | | トラック種目予選 | トラック種目決勝 | フィールド種目 |
|--------|----------|----------|---------|
| 招集開始時刻 | 35分前 | 30分前 | 45分前 |
| 招集完了時刻 | 20分前 | 15分前 | 30分前 |
- (3) トラック種目について
 ① トラック競技予選の番組編成は主催者が行い、プログラム記載の通りとする。60m、100m、80mHでは決勝を行い、番組は本部で編成し招集所に貼り出す。800m、1,000m、4×100mRは、タイムレースで順位を決定する。
 ② スタートの合図はイングリッシュコマンド(コール)とする。
 ③ スタートは、原則クラウチングスタートとし、スターティングブロックを使用してもよい。ただし、小学3・4年生は、スタンディングスタートを認める。
 ④ 不正スタートについては、同じ競技者が2回行った場合を失格とする。
 ⑤ リレー競技におけるテイク・オーバー・ゾーンは、基準点から手前20m後ろ10mの合計30mとする。テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
 ⑥ リレー競技に出場する選手のユニフォームは、原則としてチームの全選手とも同一デザインとする。ただし、男女混合4×100mRでは男女の型の違いは認めるものとする。

- ⑦ 男女混合4×100mRは男女各2名から編成され、走順は自由とする。(補欠は男女各1名ずつ)。
- ⑧ 80mHは、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。
- (9) フィールド種目について
 - ① 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットの着地は足裏からとする。(背腰等から落下した場合は無効試技とする。)また、自分が申告した高さから競技を開始することができ、3回続けて失敗した時点で終了とする。
 - ② 走高跳の最初の試技の高さは、女子が1m05、男子が1m10とし、以後5cmずつ高さを上げ、女子は1m25、男子は1m30になったら、3cmずつ高さを上げていくものとする。
 - ③ 走幅跳とジャベリックボール投は一人3回の試技とし、トップ8は行わない。
 - ④ ジャベリックボールは、大会事務局が準備するものを使用する。助走距離は、15m以内でやり投げの助走路で行うものとする。試技の際にはボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。※羽だけを持って投げることは禁止する。

- 8 表彰 (1) 種目ごと優勝した選手にメダルを授与する。
(2) 種目ごと第6位まで賞状を授与する。
- 9 開・閉会式 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しない。
- 10 参加申込 (1) 参加申込書の作成
次の2つの様式を山形県スポーツ協会ホームページからダウンロードし、デジタルデータとして作成する(手書きによる参加申込書は受け付けない)。すべての欄に入力し、不備がないかを確認すること。
※ 記載責任者氏名、連絡先電話番号等、所属スポーツ少年団と指導者の登録情報、最高記録、大会運営上必要な登録団の名称など、すべての欄に漏れなく入力する。
・参加申込書(様式1) : 5部(1部参加者控え)
・参加申込一覧表(様式2) : 5部(1部参加者控え)
- (2) 申込の手順
 - ① 8月12日(金)まで当該市町村スポーツ少年団に参加料を添えて直接申込むこと。
 - ② 作成した申込書(様式1・2)のデジタルデータを、下記連絡先メールアドレスに添付して送付する。
- (3) 参加申込みにあたって注意すること
 - ・様式1の参加人数と、様式2の参加申込一覧表の人数が同じになっているか必ず確認する。
 - ・例示を参照し、ミスがないように入力する。セル内の数式や書式を絶対に変更しない。
- 11 参加料 参加者一人 400円(監督・選手)
- 12 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について
当大会は、「令和4年度第30回山形県民スポーツフェスティバルにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止に関するガイドライン」及び各競技団体作成ガイドラインに基づき開催する。
「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」も参考にする。
(<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid1278.html>)
- 13 その他 (1) 中学生の記録は、大会運営上の理由から、参考記録になる場合がある。
(2) 10名以上参加チームより、補助役員(審判の資格を問わない)を1名以上協力すること。その際、参加申込書(様式1)に氏名等を記入すること。
(3) 当日の競技日程や受付で提出する「体調管理報告書」とともに、大会に関する連絡事項を「山形陸協ホームページ」上に約2週間前に掲載するので、必ず確認すること。
(4) 個人情報の保護に関する法律及び関係法令等を遵守し個人情報を取扱う。
 - ① 取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営に必要な連絡等に利用する。
 - ② 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。
- 14 種目連絡先 一般財団法人山形陸上競技協会 E-mail:syo.koryu@jaaf-yamagata.jp